

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業  
課題管理番号：22fk0108573h0001

## 非結核性抗酸菌の院内感染制御基盤構築に向けた全国規模調査

(AMED採択課題 2023～2024年)

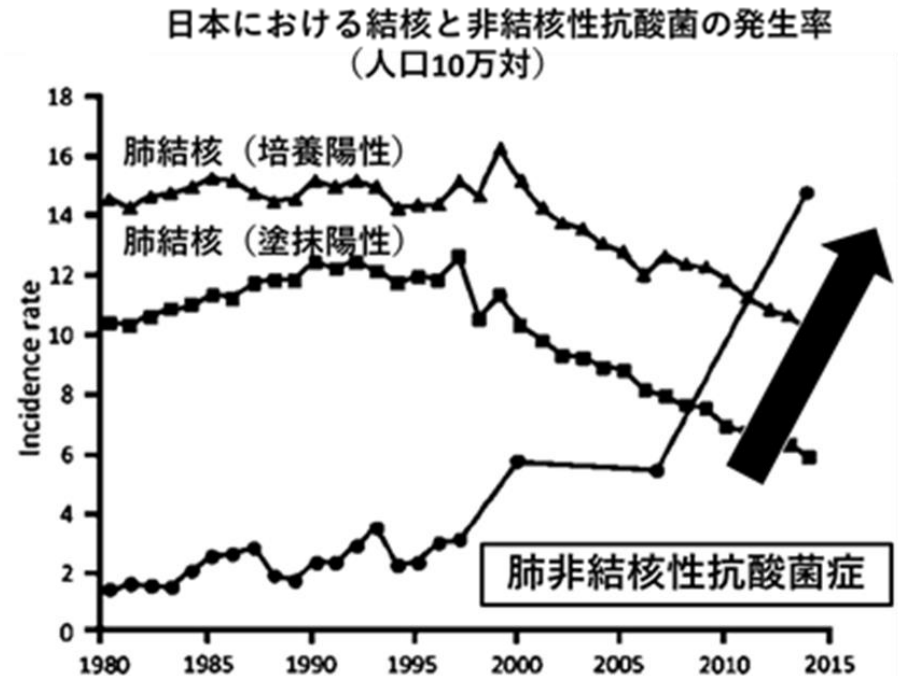
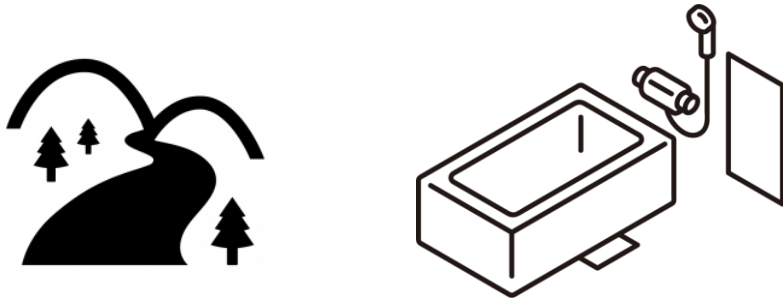
研究代表者  
大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 小宮 幸作

研究分担者  
公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部 御手洗 聡  
国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部 吉田 光範  
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 舘田 一博  
酪農学園大学獣医学群獣医保健看護学類 能田 淳  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学 柳原 克紀

# 非結核性抗酸菌症とは？

非結核性抗酸菌症は**土壌**や**水系環境**に広く存在しており、**環境中から吸入**することで主に**肺に感染**を起こす。

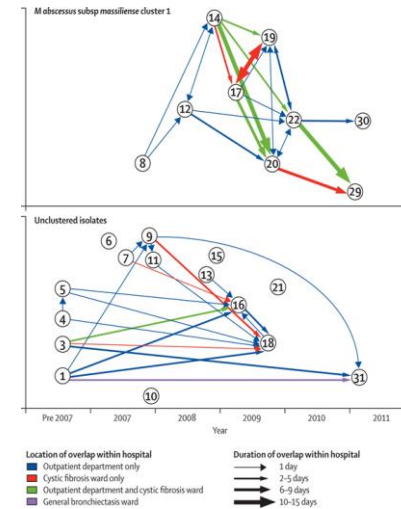
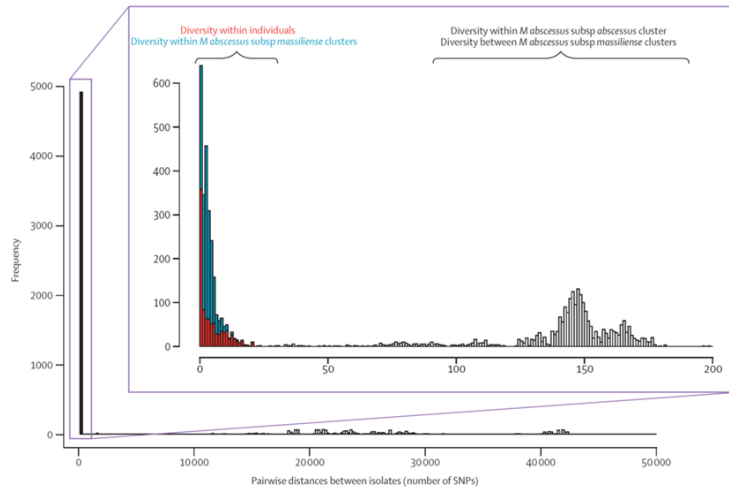
結核が低蔓延化した一方、非結核性抗酸菌症はこの10年で**2~3倍以上に増加**している。



# 非結核性抗酸菌症のヒトからヒトへの感染（欧米）？

従来は、ヒトからヒトへは感染しないと考えられていた。

2013年、イギリスでは嚢胞性線維症（難治性遺伝性肺疾患）のクリニックにおいて、**非結核性抗酸菌症**の一種である*M. abscessus* subsp. *massiliense*の**集団感染**が報告された。



検出された株の遺伝子配列が近い

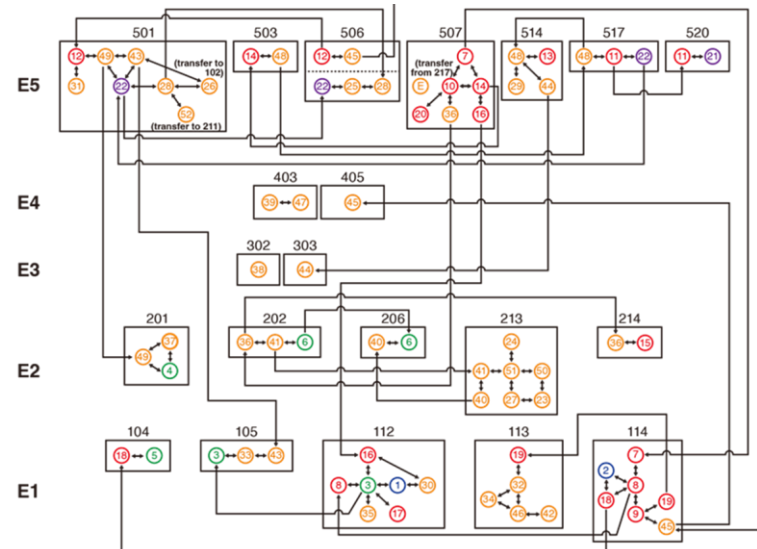
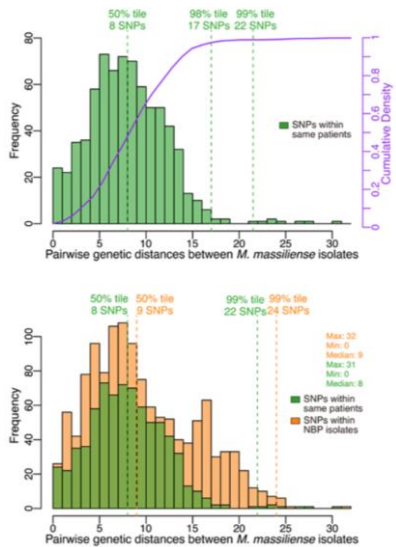
全患者がクリニック内で互いに接触していた

Lancet. 2013 May 4;381(9877):1551-60.

感染経路は？

# 非結核性抗酸菌症のヒトからヒトへの感染（大分）？

西別府病院では、**52名の気管切開が施された神経難病患者**から、**欧米と同じ種類の非結核性抗酸菌**（*M. abscessus* subsp. *massiliense*）が検出された。



全患者から検出された株の遺伝子配列が近い

全患者が病棟内で互いに接触または隣接していた

環境調査では、水系（浴室等）から検出されず、病室の**空気中から同一菌種が検出**された。

→ **空気感染（バイオエアロゾル感染）**を起こす可能性

# 潜在的にヒト-ヒト伝播する可能性

考えられる非結核性抗酸菌の伝播経路

水系環境からの伝播（従来の考え方）



非結核性抗酸菌は、気づかれないうちにヒトからヒトへ伝播し肺炎を発症している可能性がある。

→ 全国規模の調査研究（環境調査を含む）の実施へ